

# 保健室より保護者の皆様へ

## ●「思春期における健康教育」を実施しました。

日時：7月19日（水）6校時

対象：1年生 テーマ：「大切な私、大切なあなた」

内容：「思春期の心の発達・性の多様性・デートDV防止」



どんな自分もかけがえのない自分であり、それと同じように、目の前の人もかけがえのない人であること、自分と他人との違いを受け止め、対等な人間関係を築きながら、誰もが自分らしく生きていく、そんな社会を目指していこうと、養護教諭の立場から話をしました。多様な性について考え、自分や他者の大切な命と向き合う貴重な時間となりました。感想文をご紹介します。

今日の講話で、各自の個性を認め合う事やそれについて悩んでいる人の気持ちを理解することの大切さを知ることができました。また、今回初めてデートDVと言う言葉を聞いて、思春期の悩みや相手の気持ちを理解することはとても複雑で難しい問題だと感じました。しかし、だからこそ感情を伝えあい相手を尊重することが大事だと思うので日頃から気を付けていきたいです。

講話を聞いて、自分も大事で、友達とかもそれ以上に大事だということがわかりました。人間関係もみんなと対等でいられるといいです。他人を認め、自分も認められるといいです。

これからは他者といい関係でいられるように、いろいろと頑張っていきたいと思いました。

みんな違ってみんないい！



暴力とは物理的に傷つけるだけでなく、言葉の暴力もあると知りました。また、自分が被害にあったり、あわせたりしないために、まずは発言の前にその言葉が正しいのかどうか考えて行動したいと思います。

## 感染症ニュース

## インフルエンザが再び増加傾向に！ 各地で早くも学級閉鎖が発生

厚生労働省が9月15日に発表した「インフルエンザの発生状況について」令和5年第37週によると、全国のインフルエンザ定点当たり報告数は、前週から約57%の増加となりました。報告数の多い県は、沖縄、千葉、愛媛、佐賀の順に多く、西日本での報告数も目立っています。例年ならば、ほとんど感染の報告がないこの時期に、感染者が発生し続けるという状況が続いていて、夏休みが終わったばかりですが、早くも学年閉鎖、学級閉鎖が各地で発生しています。諸外国に比べて日本では、昨シーズンはそれほど大きな流行にはなりませんでした。この3年間にインフルエンザにかかっていない方が多いため、今年も多くの人が罹患するのではないとも言われています。また、例年よりも流行時期が早まり、10月にはある程度の流行になるかもしれません。新型コロナも再び増加傾向にあるので、新型コロナとの同時流行の可能性もあるようです。

インフルエンザの感染や発症、重症化を防ぐ効果が期待できる、インフルエンザワクチン。今年も10月から接種が開始予定です。早めの備えをお願いします。

## インフルエンザ予防接種 Q&A



Q いつ受ければいいのか？

A インフルエンザの流行時期は12月～3月ごろ。ワクチン接種後に効果が現れるまでは2週間ほどかかるので、10月～11月に接種を受けましょう。

Q どうして毎年受けるの？

A 接種後、効果が期待できるのは約5カ月間。また、ワクチンはそのシーズンに流行が予想されるウイルスに合わせて作られています。そのため、毎年受ける必要があります。

Q どれくらい効果があるの？

A ワクチンを接種することで、発症を40～60%防げるといわれています。重症化予防にも効果があります。

